



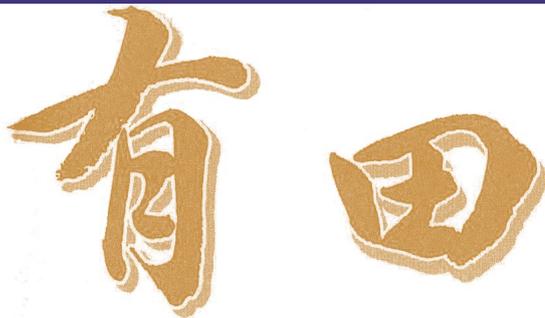
## No 2764

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗



第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日

ホームページ  
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>  
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

### ～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

テ  
R  
I  
マ  
ア



世界へのプレゼントになろう  
Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

テ  
R  
I  
マ  
ア



奉仕の理想車を走らせよう!!  
Let's drive your ideal car of the service!!

### 次回のお知らせ

- 平成28年1月7日 第2766回
- ・新年例会 年頭所感 橋爪 正芳 君  
年男所感 松村 秀一 君
  - ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

### 本日のプログラム

- 平成27年12月24日 第2765回
- ・前期活動報告
  - ・ソング：「四つのテスト」

### 前回の報告（第2764例会）

開催日 平成27年12月17日(木)

点 鐘 (中元会長)

ゲストの紹介 (橋爪(誠)親睦活動委員長)

ゲスト: 田中 政彦 様(有田市教育長)

会長の時間 (中元会長)

「職業奉仕は難しい。」とよく言われます。その理由は、奉仕という日本語の意味にその原因があると言われていいます。つまり、日本語で奉仕と言うと、自分の財産、あるいは時間、労力を犠牲にして、第三者のために尽くすという意味にとられがちだからです。その行為によって利益を得たり、報酬を貰ったりすれば、一般にはそれはもう奉仕ではないと考えられます。利潤を求むべき職業が何故、奉仕につながるのか？このような考え方が、職業奉仕の理解に混乱をもたらしているようです。

ロータリーで言う奉仕、つまりサービスとは one profits most who serves best とモットーに謳われているように、自分の職業を通じて他人や社会のために尽くすことで、その結果としての適正な利潤を得ることです。例えば、医療機関の仕事について考えてみるとわかりやすいと思います。自分の利潤をまず追求することを目的とした医療はどうでしょうか。患者さんの治療を第一に考えずに、過剰な検査や手術を行ったり、必要以上の薬品を処方したりするなどということは、非常に恐ろしいことになってしまいます。患者さん一人一人に、最良と思われる治療を行った結果として、適正な報酬を得ることが、この分野での職業奉仕となります。このことは、他の事業や仕事にも通じると思います。

松下幸之助氏は「自分の仕事なり職業というのは、それぞれ自分の意思で選び、自分の力で行っているようす

が、本来は社会がその仕事を必要としているから成り立っているものです。世の中の求めのないところに、どんな職業も成り立たないのです。自分の職業は社会からやらせてもらっているのであり、言い換えれば社会に貢献することによってのみ存在しうるのです。」と述べています。

また、ロータリーでいう職業は英語でvocationであり、これはvocationがラテン語のvocatio(神のお召し)からきている言葉で、神の授けもうけた仕事、天職という使命感を含んでいます。たとえ、直接には自分の生計につながる仕事であっても、同時にそれは人間全般のために役立つように心がけるべきなのです。松下幸之助氏の考え方は、職業はこの天職であるという考え方にもつながります。自分の職業が天職であるとすれば、自ずと自分の利益を追求する前に、他人や社会のために仕事をするという使命感が生まれます。この使命感に裏付けされた、思いやりや善意がロータリーの奉仕の理念なのです。自分の仕事、社会の中で持つ意味をもう一度確認し、世の中の求めに精一杯応えられているかどうか考えて行きたいと思います。

### 幹事報告 (上野山(栄)幹事)

- 福井ガバナーエレクトより
  - ・2016-2017年度 地区委員配属希望について
- ガバナー事務所より
  1. クラブ奉仕委員長会議の案内 1/23 13:00～(於)華月殿 (酒井社会・青少年奉仕副委員長へ)
  2. 「ハイライトよねやま189号」  
(嶋田(崇)米山副委員長へ)
- その他
  1. 2016年度国際ロータリー年次大会 韓国・ソウルのパンプレットが届く(嶋田(崇)国際奉仕委員長へ)
  2. 有田経済クラブ クラブ通信305号(後方掲示)

- 3.the rotarian誌(回覧)  
 4.例会変更(後方掲示)  
 ○国際大会への参加者は現在11名です。

**委員会報告**

- \*社会・青少年奉仕委員会(酒井副委員長)  
 12月10日(木)14:00より初島中学校とラオス留学生との交流授業が無事行われました。当日は総勢81名で実施されラオスの紹介、ダンスや遊びを通じて交流を深め国際感覚を高める良い機会となりました。皆様ご協力いただき本当にありがとうございました。
- \*親睦活動委員会(橋爪(誠)委員長)  
 例会後、親睦委員会の会議を行います。
- \*R広報委員会(児島委員長)  
 週報2763号に誤りがありました。大変失礼しました。  
 P3 2016-2017年度役員理事 誤:「直前会長 上野山英樹」、正:「直前会長 中元耕一郎」

**出席報告** (岩橋例会運営委員)

本日の会員数28名  
 (出席規定免除会員9名)  
 出席会員数21名  
 (出席規定免除会員8名)  
 80. 77%  
 12/3 91. 67% MU:なし

**ニコニコ箱の報告** (中村SAA)

中元君:会員の皆様、初島中学校での社会・青少年奉仕事業の参加、ありがとうございました。田中政彦先生、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話、よろしく願い致します。

上野山(栄)君:田中教育長におかれましては、本日はお忙しい中、卓話ありがとうございます。

橋爪(誠)君:田中政彦教育長様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話、勉強させていただきます。

岩本君:田中教育長様、お忙しい中、本日は卓話有難うございます。

児島君:田中教育長さん、卓話楽しみです。

石垣君:田中教育長様、お忙しい中、卓話にお越しいただきありがとうございます。

橋爪(正)君:田中教育長様、本日の卓話よろしく願いします。

應地君:田中教育長、卓話を楽しみにしています。

成川(守)君:田中教育長さま、ようこそ有田RCへ。

脇村君:田中教育長、本日の卓話よろしく願いします。

上野山(英)君:田中教育長様、本日、卓話よろしく願いします。

酒井君:田中教育長様、本日はお越しいただきありがとうございます。卓話よろしく願いします。

松村君:川村さんは串本の映画をもう見たでしょうか。「ニッポンとトルコの人の 真心は 繰り返される 超我の奉仕」。田中政彦先生、卓話楽しみにしています。

す。  
 中村君:田中先生、ようこそ有田RCへ。卓話楽しみにしていました。よろしく願いいたします。

**卓話**

**「最近つくづく思うこと」**

有田市教育長 田中 政彦 様

**1. はじめに**

最近、思いがけず心が熱くなりました。それは桜のエンブレムのユニホームに身を包んだラグビー日本代表です。ワールドカップイングランド大会で、1次リーグに3勝を挙げ、日本ラグビーの歴史を大きく塗り替えました。先日、朝日スポーツ賞の受賞が決定しました。今回の卓話は、私が学生時代に熱中したラグビーについてお話ししたいと思います。



**2. ワン・フォー・オール オール・フォー・ワン**

「全ては一人のために、一人は全てのために」という言葉です。1チーム15人という大勢の人数で戦う競技はそう多くありません。一人一人が勝手なことをしてはチームとしての有効な攻撃も防御もできません。組織として動く必要があります。それは勝利をつかむための必然でもあります。

**3. ノーサイドの精神**

ラグビーにおいては、試合終了のことを指します。戦い終えたら両軍のサイドが無くなって同じ仲間だという精神に由来します。戦う前は身体が震えるくらいの恐怖や不安との戦いです。それは、ラグビーが全ての集団的なスポーツの中で、より格闘技的な要素が強いからだと思います。だからこそ、一定の決められた時間の中で、持てるもの全てを出し尽くし、全精力を上げて戦います。そして、終わった後はお互いの健闘を称え合う、それがノーサイドです。

**4. ラグビーの特質**

一旦競技が始まったならば、監督やヘッドコーチは指示を与えることはできません。ゲームは主にキャプテンが判断し、指示を出します。あくまでも主体は選手だということです。そして、ラグビーでは「審判が絶対」です。格闘技的な要素がたいへん強く、両チーム30人のラグーマンがトップスピードで激しく身体をぶつけ合うスポーツです。一定のルールに従うこと、規律ある行動を取ることは必須条件になってきます。

**5. ラグビーを通して身についたこと**

- ・強靱な体と強い精神力
- ・我慢する気持ち、努力することの大切さ
- ・礼儀、作法
- ・利害を超えた一生涯の友
- ・自分自身の限界を知り、挫折を知った

**閉会・点鐘** (中元会長)